

令和8年度 当初予算主な事業

事業名	ワールドマスターズゲームズ関西プレ大会開催事業			
予算額	7,500	千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的 世界最大の生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ2027関西」が2027年5月に日本で初めて関西一円で開催され、京田辺市はハンドボール競技の会場となります。 大会開催に向け、機運醸成や大会運営の検証等を行うため、2026年5月にプレ大会として「第5回関西マスターズゲームズハンドボール大会」を開催します。</p> <div style="text-align: center;">  <h3 style="margin: 0;">WORLD MASTERS GAMES 2027 KANSAI / JAPAN</h3> </div> <p>○ 事業概要 大会名 ワールドマスターズゲームズ関西プレ大会 第5回関西マスターズゲームズハンドボール大会 期 間 令和8年5月2日（土）～5月4日（月・祝） 会 場 田辺中央体育館（京田辺市） 京都府立山城総合運動公園体育館（宇治市）</p> <p>※ 写真・イメージ図 など</p> <div style="text-align: center;">  </div>			
担当所属名	市民部 ワールドマスターズゲームズ推進室	直通電話番号	34 - 1965	

令和 8 年度 当初予算主な事業

事業名	まちづくり協議会の支援による市民協働推進事業		
予算額	2,700	千円	新規・拡充 継続等の別
事業内容	<div style="padding: 10px;"> <p>○ 背景・経過 市では、地域で活動する多様な主体が参画し、住民主体で地域課題等の解決に取り組む「まちづくり協議会」の設立をサポートしている。南部まちづくりセンターを拠点として令和4年度に三山木地域で協議会が設立。令和5年度には松井ヶ丘地域（小学校区）で協議会が設立しそれぞれの地域で事業等に取り組んでいる。</p> <p>○ 目的 小学校区単位で活動するまちづくり協議会に対して補助・伴走支援し、地域の様々な団体が参画する広域的なプラットフォームとしての展開を目指すことで、市民協働を推進する。</p> <p>○ 事業の内容 ・ 2地域で活動する協議会に対して補助事業を行う（2協議会、各1,000千円） ・ 協議会の運営補助（1協議会700千円）</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>複数の区・自治会や区域内の団体によって構成されるまちづくり協議会の活動により、広域での地域課題の解決や活性化を推進します。</p> </div>		
担当所属名	市民部市民参画課	直通電話番号	64 - 1314

令和8年度 当初予算主な事業

事業名	協定締結大学等との連携事業			
予算額	5,636	千円	新規・拡充 継続等の別	継続
事業内容	<p>○ 目的 市民とりわけ子どもを対象としたプログラムや地域に関連した教員等の研究活動の支援や学生団体と協働した取り組みなど、大学の有する豊富な知識・技術・人材を生かした連携プログラムを実施することで、大学が地域にとって身近な存在となること目的とする。</p> <p>○ 事業概要 【同志社大学理工学部とのサイエンスアカデミー】 理系学部の学びの拠点として立地されている同志社大学京田辺キャンパスの特徴を生かし、市内小学校及び中学校の児童、生徒を対象に理科の科学実験教室の実施を通じて、子ども達に理科の楽しさを伝え、興味・関心を高めるきっかけを作るもの。</p> <p>【大学連携地域貢献研究事業】 大学が有する豊富な知識、技術、人材との多様な連携・交流による「知の拠点化」をめざす中で、京田辺市が解決すべき行政課題や地域課題の解決又は地域資源の掘り起こしに資するため、本市が連携協力協定を締結している同志社大学、同志社女子大学、京都府立大学及び摂南大学をはじめ、国内の幅広い大学等の研究者等に対して委託研究を行うもの。</p>			
				
担当所属名	市民部市民参画課	直通電話番号	64	— 1314

令和8年度 当初予算主な事業

事業名	市民まつり映画上映事業		
予算額	3,500	千円	新規・拡充 継続等の別
事業内容	<p>○ 目的 同志社大学京田辺校地開校40周年にちなんで、市民まつりにおいて「同志社に関連するアニメーション」の上映や、同大学と連携し交流を進めているインドの映画等を上映することで大学連携・国際交流の取り組み及びインドの文化を市民に広く知ってもらう機会とする。</p> <p>○ 事業概要 【市民まつり映画上映事業】 11月開催の市民まつりにおいて、「同志社に関連するアニメーション」の上映や、同大学と連携し交流を進めているインドの映画等を上映する。</p>		
担当所属名	市民部市民参画課	直通電話番号	64 - 1314

令和 8 年度 当初予算主な事業

事業名	女性交流支援ルーム運営事業		
予算額	4,925	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 男女共同参画を推進するための拠点施設として、情報ライブラリー、交流スペース、女性のための相談室を備えた女性交流支援ルームを運営する。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>(1) 女性交流支援ルーム「就業支援」講座 〔継続〕 社会情勢を反映させる中で女性の様々な働き方を支援する就業支援講座を企画、開催する。(2回)</p> <p>(2) 女性交流支援ルーム「ポケット」講座 〔継続〕 女性交流支援ルームの事業の周知や男女共同参画社会に関する認識・理解を深めるために、男女共同参画の視点に立った啓発や情報発信をする講座(ポケットサロン)を企画、開催する。(4回)</p> <p>(3) 女性の相談事業 〔継続〕 女性が生きていく中での様々な悩みを聴き、ともに考え、次の一歩を踏み出すための支援をしていく。 ・女性交流支援ルーム職員による一般相談(電話・面接) ・フェミニストカウンセラーによる専門相談(面接:要予約) ※定期・時間外・臨時相談を合わせて月3回、相談の機会を確保する。1人50分×3枠分 ・女性弁護士による法律相談(面接:要予約) 月1回 1人30分×4枠分</p> <p>(4) 女性交流支援ルーム運営事業 〔継続〕 施設賃借料、職員用駐車場代、光熱水費、通信運搬費、コピー機・印刷機リース料、店舗総合保険等</p> <p>(5) 情報ライブラリー充実事業 〔継続〕 図書、DVDの購入により情報提供の充実を図る。</p> <p>(6) 情報ボックス等利用団体との協働事業 〔継続〕 男女共同参画社会社会の実現をめざして情報ボックス等利用団体との協働による事業を行う。</p> <p>(7) 男女共同参画を推進する団体の活動支援 〔継続〕 交流会に加えて団体を活性化するための講座を開催する。</p>		
担当所属名	市民部人権啓発推進課	直通電話番号	64 - 1336

令和 8 年度 当初予算主な事業

事業名	人権啓発事業		
予算額	2,243	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的・概要 第3次京田辺市人権教育・啓発推進計画に基づき、広く人権意識の高揚を図る取組を行う。 部落差別（同和問題）、女性、障がい者、高齢者などの人権啓発をはじめ、ユニバーサルデザイン、性的指向・性自認など注目度の高い内容などもさまざま取り上げるほか、人権問題に造詣の深い学識経験者や、経験者、当事者など、実体験に基づく話をする講師に登壇依頼するなど、人権問題をより身近に感じることができる企画を行う。</p> <p>○ 事業概要 人権啓発事業の開催</p> <p>(1) ヒューマン映画上映会 〔継続〕 差別のない明るい社会をつくるため、様々な人権問題が市民一人ひとりの課題として認識され、理解されるよう開催する。</p> <p>(2) 人権問題研修会 〔継続〕 例年8月下旬の3日連続で、様々な人権テーマについて講師を招き、市民と職員とが共に学ぶ機会として実施する。</p> <p>(3) わくわくワークショップ 〔継続〕 市民に人権問題について身近に感じてもらうためにワークショップ（参加型体験学習）という手法により、明るく楽しく学ぶよう実施する。</p> <p>(4) ハートフルフェスタ 〔継続〕 市民一人一人が人権の意義やその重要性を身につけるとともに、様々な人権問題を解決しようとする実践力や、人権感覚を養う人権教育・啓発の取組として、教育委員会との共催で行う。</p> <p>※ その他、職員向けの研修等も各種行う。</p>		
担当所属名	人権啓発推進課	直通電話番号	64 - 1336

令和8年度 当初予算主な事業

事業名	男女共同参画推進事業		
予算額	1,976	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 令和7年度に改訂した第3次京田辺市男女共同参画計画（改訂版）に基づき、広く男女共同参画の意識啓発を行うとともに、さまざまな対象に向けた講座等を行うことにより、各家庭・地域・学校・職場における男女共同参画の取組を促進し、男女共同参画社会の形成をめざす。 また、男女共同参画社会の実現に向けて、総合的かつ計画的に施策を進める。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>(1)京たなべ男女共同参画週間事業 〔継続〕 6月の「男女共同参画週間」に合わせ、男女共同参画をテーマとしたフォーラム（講演会）や子育て講座などの事業を開催する。</p> <p>(2)男女共同参画推進のための講座 〔継続〕 家庭や地域での男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関する身近なテーマについて学ぶ講座を開催する。</p> <p>(3)男性の家庭生活向上講座 〔継続〕 男性の家庭生活への参画を促すため、基礎的な家事の講座を開催する。</p> <p>(4)子どもを対象とした男女共同参画推進事業 〔継続〕 子どもの頃からの男女共同参画の理解促進と将来を見通した自己形成推進のため、小中学校等において、男女共同参画をテーマとした講座を実施する。</p> <p>(5)男女共同参画実践モデル事業 〔継続〕 区・自治会や市内事業所が男女共同参画の推進を目的として開催するセミナーに、講師を派遣する。</p> <p>(6)女性に対する暴力をなくす運動週間事業 〔継続〕 11月に田辺警察署と共催で、女性に対する暴力防止を呼びかける街頭啓発や意識啓発のための講演会などを実施する。</p> <p>(7)デートDV防止啓発事業 〔継続〕 若い世代を対象に、自分も相手も大切にすることを醸成し交際相手からの暴力防止につなげるため、デートDV防止啓発カードを作成、配布・配架し、高校生や大学生を対象とした啓発事業を行う。</p>		
担当所属名	市民部人権啓発推進課	直通電話番号	64 - 1336

令和8年度 当初予算主な事業

事業名	犯罪被害者支援啓発事業 (ホンデリング事業・その他)		
予算額	60 (一部ゼロ予算)	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的・概要 本市では、平成26年度に公益社団法人京都犯罪被害者支援センター（以下、センター）と協定書を締結し、犯罪被害に遭って体や心を傷つけられたり、大切な方を失ったりして苦しんでいる方への支援について、連携して取り組みを進めています。</p> <p>その一環として、同センターが実施する市民向け講演会への後援を通じて、犯罪被害者支援への取組を進めていきます。賛助会員として同センターへの参画を引き続き進めます。また、不要・廃棄する書籍をセンターへ寄付し、その売却代金を支援活動に活用する「ホンデリング事業」を実施します。</p> <p>○ 事業概要 【府民・市民向けの講演会への参画】 センターが実施する講演会への運営に協力し、犯罪被害者支援の取組について広く広報啓発を行っていきます。（共催・後援）</p> <p>【ホンデリング事業（ゼロ予算）】 不要になった書籍をリサイクル業者を通じ寄付。売却相当額をリサイクル業者がセンターに寄付され、センターの活動に役立たれます。様々なイベントで不要になった書籍の回収を進めます。</p> <div style="text-align: center;"> <p>古本を寄贈 古本の集荷・仕分け・査定 活動費用へ</p> </div> <p>【公益財団法人京都府犯罪被害者支援センターの賛助会員】 賛助会員として参画し、京都府犯罪被害者支援センターとの連携を進めます。</p>		
担当所属名	市民部人権啓発推進課	直通電話番号	64 - 1336

令和 8 年度 当初予算主な事業

事業名	無料法律相談事業		
予算額	1,215	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 法律的な問題を抱えている市内在住・在勤の方を対象に、弁護士による助言を行う。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>回 数：月 2 回（第 1・第 3 水曜日）実施 定 員：1 回につき、6 名（1 人 3 0 分。年間 1 4 4 名） 開催場所：京田辺市役所 4 F 市民相談室 予約申込：6 2 - 4 3 4 3</p>		
担当所属名	市民部人権啓発推進課	直通電話番号	64 - 1336

令和8年度 当初予算主な事業

事業名	京田辺市文化芸術プラットフォーム形成プロジェクト			
予算額	8,000	千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>本市では、平成8年度から開始となる「第2期京田辺市文化振興計画」を策定しました。まち全体に文化的ネットワークを広げ、この計画に基づいた文化振興の諸施策をより有効に進めていくための基盤をつくり、第2期文化振興計画に示す各取り組みを実現するために構築を進めるものです。</p> <p>○ 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化資源や関連する地域資源を整理・蓄積し、可視化と共有、活用を進める。 ・市内で活動する文化芸術団体等から、計画掲載事業の実現を図る文化芸術事業として実施の提案を受け、プラットフォーム内に設置する外部有識者による審査を経たものを、補助事業として実施していくことで、第2期文化振興計画に位置付けている事業の推進を進める。 ・市民、自治会、大学、企業、福祉・医療機関、金融機関など多様な主体が文化を媒介に連携する仕組みを構築する。 ・まち全体に文化的ネットワークを広げ、文化芸術を地域課題解決に活用する。（こども達への文化振興、文化による郷土愛の醸成、観光や産業との共同等） ・文化を軸にした協働・創発を通じ、若年層や多様な人材の定着を促進する。 ・プラットフォームを活用し第2期文化振興計画に示す各取り組みを実行する。 <p>※ 写真・イメージ図 など</p> <div style="text-align: center;"> </div>			
担当所属名	市民部文化・スポーツ振興課	直通電話番号	64	— 1300

令和8年度 当初予算主な事業

事業名	文化財周遊事業		
予算額	675	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>本市域ではおよそ50年ぶりとなる重要文化財新規指定に向けて答申が出された木造薬師如来立像（両讃寺）など、市内の文化財を巡るツアーを開催します。また、両讃寺の薬師如来立像は、通常は拝観することができない秘仏となっているため、合わせて特別拝観を行います。</p> <p>○ 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財周遊バスツアー 貴重な文化財を有する市内の寺院等をバスで周遊する。重要文化財指定に向け答申が出された両讃寺、新たに6件の絵画作品が京都府暫定登録文化財に登録された一休寺、市指定文化財であった薬師如来坐像が京都府指定文化財に指定された甘南備寺を巡ります。 ・文化財特別公開 秘仏となっているため通常は拝観することができない両讃寺薬師如来立像の特別拝観を実施します。また、京都府暫定登録文化財に新たに登録された絵画作品の一部を一般公開を行います。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: right;">薬師如来立像（両讃寺）</p> </div>		
担当所属名	市民部 文化・スポーツ振興課	直通電話番号	64 - 1300